

安全データシート(SDS 番号:SDSGA0012-7)
GeneAll Hybrid-Q™ Plasmid Rapidprep: リボヌクレアーゼ A

初回作成日: 2025 年 3 月 13 日

前回改訂日: 一年一月一日

最新改訂日: 2025 年 12 月 11 日

版番号: 第 2 版

1. 化学品及び会社情報

1.1 化学品の名称

製品名	GeneAll Hybrid-Q™ Plasmid Rapidprep
製品番号	GA100-110 (Mini 10 回用) GA100-150 (Mini 50 回用) GA100-102 (Mini 200 回用)
バッファー名	リボヌクレアーゼ A RNase A

1.2 化学品の推奨用途及び使用上の制限

推奨用途	試験研究用実験試薬
使用上の制限	専門ユーザー向け

1.3 提供者の詳細

製造元の会社情報	GENEALL BIOTECHNOLOGY CO., LTD GeneAll Bldg., 303-7, Dongnam-ro, Songpa-gu, Seoul, 05729, Korea
供給者の会社情報	日本ジェネティクス株式会社 〒112-0004 東京都文京区後楽 1 丁目 4 番 14 号 後楽森ビル 18 階 電話番号: 03-3813-0961 ファックス番号: 03-3813-0962
供給者の緊急時連絡先	電話番号: 03-3813-0961 (祝祭日を除く、月曜日から金曜日の午前 9 時から午後 5 時 30 分) E メール: info@genetics-n.co.jp

2. 危険有害性の要約

2.1 化学品の GHS 分類

危険有害性項目	危険有害性区分/細区分
物理化学的危険性	GHS 分類基準に該当しない。
健康に対する有害性	GHS 分類基準に該当しない。
環境に対する有害性	GHS 分類基準に該当しない。

2.2 GHS ラベル要素

絵表示又はシンボル	GHS 分類基準に該当しない。
注意喚起語	GHS 分類基準に該当しない。
危険有害性情報	
物理的危険性	物理的危険性のある物質又は混合物ではない。
健康有害性	健康有害性のある物質又は混合物ではない。
環境有害性	環境有害性のある物質又は混合物ではない。
注意書き	
安全対策	危険有害性のある物質又は混合物ではない。
応急措置	危険有害性のある物質又は混合物ではない。
保管	危険有害性のある物質又は混合物ではない。
廃棄	廃棄に於いては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。

安全データシート(SDS 番号:SDSGA0012-7)
GeneAll Hybrid-Q™ Plasmid Rapidprep: リボヌクレアーゼ A

3. 組成及び成分情報

3.1 化学物質・混合物の区別

単一製品・混合物の区別	混合物
-------------	-----

3.2 化学名又は一般名

	化学名又は一般名	CAS 番号	濃度又は濃度範囲
①	リボヌクレアーゼ A RIBONUCLEASE A TYPE I	9001-99-4	2~10%
注意	本製品に含まれる成分のうち、組成や濃度が営業秘密に該当するものについては、関連法規に基づき、成分名を非公開、濃度を非公開もしくは幅記載としています。また、製品仕様上、濃度にばらつきがある場合は、幅記載としています。SDS に記載がなくとも、危険有害性を有さない成分、法令により開示義務のない濃度未満の成分が含まれている可能性があります。		

4. 応急措置

一般的アドバイス	必要な措置をとるために、この SDS を担当医に見せること。
ばく露経路ごとの応急処置	
吸入した場合	直ちに医師の診察/手当てを受けること。 患者を空気の新鮮な場所に移すこと。 呼吸していない場合は、人工呼吸を行うこと。 呼吸が困難な場合は、酸素吸入をすること。
皮膚に付着した場合	直ちに水で皮膚を少なくとも 20 分間洗い流すこと。 汚染された衣服や靴を脱ぎ、汚染区域を隔離すること。 汚染された衣類を全て脱ぎ、再使用する前に洗濯すること。 直ちに医師の診察/手当てを受けること。
眼に入った場合	直ちに水で眼を少なくとも 20 分間洗い流すこと。 直ちに医師の診察/手当てを受けること。
飲み込んだ場合	意識がない場合、口から絶対に何も与えないこと。 直ちに医師の診察/手当てを受けること。

5. 火災時の措置

5.1 消火剤

適切な消火剤	小規模火災: 乾燥砂、粉末消火剤、耐アルコール泡消火剤、水噴霧、泡消火剤、二酸化炭素消火剤 大規模火災: 水噴霧/ミスト、泡消火剤
使ってはならない消火剤	情報なし

5.2 火災時特有の危険有害性

危険有害性	熱、火花、炎によって着火する可能性がある。 加熱により容器が爆発する恐れがある。 燃焼する可能性があるが、容易には着火しない。 物質を吸入すると有害である可能性がある。
有害燃焼副産物	火災の際、刺激性および有毒なガスが発生する可能性がある。 一部の液体は、めまいや窒息を引き起こす蒸気が発生する可能性がある。

安全データシート(SDS 番号:SDSGA0012-7)
GeneAll Hybrid-Q™ Plasmid Rapidprep: リボヌクレアーゼ A

5.3 消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

消火を行う者の保護	接触すると皮膚や眼に火傷を負わせる可能性がある。
	消火水の処理のため溝を掘り、拡散させないこと。
	タンク火災の場合： 消火後もタンクを多量の水で冷やし続けること。 甲高い音がしたりタンクの色が変わったりした場合は、直ちにその場から離れること。 火災中はタンクに近づかないこと。
予防措置	安全に実施できるのであれば、容器を火元から離すこと。
	一部は高温で輸送される可能性があるため注意すること。
	漏出した場合、汚染を引き起こす可能性がある。

6. 漏出時の措置

6.1 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

人体に対する注意事項	避けるべき物質と条件に注意すること。
	汚染区域を換気すること。
	露出した物質に触れないこと。
	粉塵の発生を防ぐこと。
保護具	項目 8 を参照して、適切な保護具を着用すること。
緊急時措置	すべての着火源を取り除くこと。
	安全に実施できるのであれば、漏出を止めること。

6.2 環境に対する注意事項

環境に対する注意事項	漏出物や流出水が、水路、下水道、排水路、閉鎖された区域に拡散されるのを防ぐこと。
------------	--

6.3 封じ込め及び浄化の方法・機材

封じ込め及び浄化の方法・機材	(少量漏出の場合) 汚染された区域を多量の水で洗い流すこと。 砂または不活性物質で吸収し、化学廃棄用の容器に入れること。
	(大量漏出の場合) 漏出箇所から距離を保って溝を作ること。
	清潔なシャベルを使用し、漏出した物質を清潔で乾燥した容器に入れること。
	容器をゆるく閉め、漏出区域から離れた場所に移すこと。
	拡散を防いで乾燥した状態を保つため、ビニールシートで覆うこと。

7. 取扱い及び保管上の注意

7.1 取扱い

安全取扱注意事項	避けるべき物質と条件に注意すること。
	取扱い後は十分に洗浄すること。
	項目 8 を参照して作業すること。
	高温に注意すること。

7.2 保管

安全な保管条件	容器をしっかりと密閉し、涼しく乾燥した場所に保管すること。
---------	-------------------------------

7.3 その他の情報：特定の最終用途は、項目 1.2 を参照すること。

安全データシート(SDS 番号:SDSGA0012-7)
GeneAll Hybrid-Q™ Plasmid Rapidprep: リボヌクレアーゼ A

8. ばく露防止及び保護措置

8.1 管理指標

ばく露限界(日本産業衛生学会)	データなし
ACGIH ばく露限界	データなし
生物学的ばく露規制(BEI)	データなし

8.2 設備対策

ばく露を軽減するための設備対策	適切な工学的管理や局所排気換気装置の設置により、空気中の濃度をばく露限度以下に保つこと。
-----------------	--

8.3 保護具

呼吸用保護具	ばく露される粒子状物質の物理的・化学的特性に応じて、適切な政府基準に基づき試験・承認された呼吸用保護具を着用すること。 防塵マスク、エアフィルター付き防塵マスク、電動ファン付き防塵マスクが推奨される。 酸素レベルが不十分な場合(<19.6%)、給気式呼吸器または自給式呼吸器(SCBA)を着用すること。
手の保護具	ばく露される物質の物理的・化学的特性に応じた、適切な耐薬品性の手袋を着用すること。
眼及び/又は顔面の保護具	眼の炎症やその他の健康被害を引き起こす可能性のある粒子状物質から眼を保護するために、通気性のある保護ゴーグルを着用すること。
皮膚及び身体の保護具	ばく露される物質の物理的・化学的特性に応じた、適切な耐薬品性の保護衣を着用すること。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態(外観/形状)	液体
色	無色
臭い	データなし
臭いの閾値	データなし
融点/凝固点(軟化温度/範囲)	データなし
沸点又は初留点及び沸騰範囲	データなし
可燃性(液体)	データなし
爆発下限界及び爆発上限界/ 可燃限值	データなし
引火点	データなし
自然発火点	データなし
分解温度	データなし
pH	データなし
動粘性率	データなし
溶解度	データなし
n-オクタノール/水分配係数(log 値)	データなし
蒸気圧	データなし
密度及び/又は相対密度	データなし
相対ガス密度	データなし
粒子特性	データなし
粘度	データなし
分子量	データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	指示に従って使用及び保管した場合には反応しない。
-----	--------------------------

安全データシート(SDS 番号:SDSGA0012-7)
GeneAll Hybrid-Q™ Plasmid Rapidprep: リボヌクレアーゼ A

化学的安定性	指示に従って使用及び保管した場合には化学的に安定している。
危険有害反応の可能性	加熱されると容器が爆発する可能性がある。
	一部は燃焼する可能性があるが、容易には着火しない。
	火災の場合、刺激性および有毒なガスを発生する可能性がある。
	物質を吸入すると有害である可能性がある。
一部の液体は、めまいや窒息を引き起こす蒸気を発生する可能性がある。	
避けるべき条件	熱、火花、炎などの着火源
混触危険物質	可燃性物質
危険有害な分解生成物	刺激性/有毒ガス

11. 有害性情報

危険有害性項目	内容
急性毒性	(経口)データなし (経皮)データなし (吸入)データなし
皮膚腐食性/皮膚刺激性	データなし
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	データなし
呼吸器感作性又は皮膚感作性	データなし
生殖細胞変異原性	データなし
発がん性	データなし
生殖毒性	データなし
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	データなし
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	データなし
誤嚥有害性(吸引性呼吸器有害性)	データなし
その他	データなし

12. 環境影響情報

12.1 生態毒性

生態毒性	内容
魚類に対する毒性	データなし
甲殻類に対する毒性	データなし
藻類に対する毒性	データなし

12.2 残留性・分解性

残留性	データなし
分解性	データなし

12.3 生物蓄積性

生物蓄積性	データなし
生物分解性	データなし

12.4 土壌中の移動性

吸着試験	データなし
浸出試験	データなし
Log Koc(土壌吸着係数)	データなし

12.5 他の有害影響

オゾン層への有害性	データなし
-----------	-------

安全データシート(SDS 番号:SDSGA0012-7)
GeneAll Hybrid-Q™ Plasmid Rapidprep: リボヌクレアーゼ A

13. 廃棄上の注意

製品及び残余廃棄物	内容物/容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合には、そこに業務を委託して処理すること。
	廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分告知の上処理を委託すること。
	環境への放出を避けること。
汚染容器及び包装	空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。
	完全に空でない場合は、製品入り容器と同様に処分すること。
	容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行うこと。

14. 輸送上の注意

14.1 国際規制

国連番号 (UN Number)	輸送規制の対象ではない。
国連出荷正式名(国連出荷名) (UN Proper Shipping Name)	輸送規制の対象ではない。
国連分類 (輸送時の危険有害性クラス) (UN Transport Hazard Class)	輸送規制の対象ではない。
容器等級 (Packing Group)	輸送規制の対象ではない。
環境への危険性	環境上危険物として規制されていない。
ユーザー向け特別注意事項	ADR/RID(陸上規制)、ADN(内陸水路規制)、IMO/IMDG-Code(海上規制)、ICAO/IATA-DGR(航空規制)で規制された危険物ではない

14.2 国内規制

海上規制情報	船舶安全法の規定に従うこと。
航空規制情報	航空法の規定に従うこと。
陸上規制情報	毒物及び劇物取締法、消防法、高圧ガス保安法、道路法の規定に従うこと。

14.3 MARPOL 73/78 付属書 II 及び IBC Code によるばら積み輸送される液体物質：本製品には該当しない。

15. 適用法令

化審法	非該当
化管法/PRTR 法	非該当
労働安全衛生法	非該当
毒物及び劇物取締法	非該当
消防法	非該当
廃掃法	産業廃棄物
麻薬及び向精神薬取締法	非該当
覚醒剤取締法	非該当
薬機法	非該当
カルタヘナ法	非該当
火薬類取締法	非該当
高圧ガス保安法	非該当
化学兵器禁止法	非該当

安全データシート(SDS 番号:SDSGA0012-7)
GeneAll Hybrid-Q™ Plasmid Rapidprep:リボヌクレアーゼ A

大気汚染防止法	非該当
オゾン層保護法	非該当
悪臭防止法	非該当
ダイオキシン類対策特別措置法	非該当
水質汚濁防止法	非該当
下水道法	非該当
水道法	非該当
海洋汚染防止法	非該当
航空法	非該当
船舶安全法	非該当
港則法	非該当
道路法	非該当
労働基準法	非該当
農薬取締法	非該当
土壌汚染対策法	非該当
水銀汚染防止法	非該当
地球温暖化対策推進法	非該当
フロン排出抑制法	非該当

16. その他の情報

弊社が販売する試薬類は、試験研究用途向けに限定して販売しております。製品を取り扱う前に取扱説明書等を熟読し、専門知識のある技術者、研究者がご使用ください。本 SDS 情報は、徹底的な調査及び/または研究によって得られたものであり、推奨は専門的判断の慎重な適用に基づいています。また包括的のみならず、ガイドとしてのみ使用されるべきものです。全ての物質及び混合物には、未知の危険性があるため注意して使用する必要があります。当社では、実際の方法、量、使用条件等を管理することができないため、本書に記載されている取扱いまたは製品との接触に起因する損害賠償責任は一切負いません。本 SDS の情報は、市場性や特定目的適合性の黙示の保証を含め、明示的にも黙示的にもいかなる保証をするものではなく、また品質を特定するものでもありません。

引用文献及び参照ホームページ等

- ・サプライヤー提供の SDS
- ・JIS Z 7252:GHS に基づく化学品の分類方法
- ・JIS Z 7253:GHS に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法-ラベル, 作業場内の表示及び安全データシート(SDS)
- ・化学物質規制・管理実務便覧(化学物質管理実務研究会編集、新日本法規出版株式会社出版)
- ・NITE 化学物質総合情報提供システム(独立行政法人 製品評価技術基盤機構)
- ・ezCRIC+ (日本ケミカルデータベース株式会社)

以上